

政策シート (政策名) 産業と市民活動による担い手の確保

(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

観光資源としての農山漁村の魅力を発信し国内外からの交流人口を増加させ、地域の活性化を図る。食農教育や地産地消を推進し、消費者である市民の理解促進を図り、地域の食文化に根差した農林水産業の振興を実現する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費				
-----	-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	806	1,278	9,466	7,767	12,387
決算	763	1,262	8,289	4,032	
人件費(A)	5,250	6,400	6,400	10,580	16,540
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,013	7,662	14,689	14,612	28,927

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
グリーンツーリズム交流人口	人	3,180,000	目標	2,910,000	2940000	2970000	3000000	3030000
			実績	3046333	3146637	4118951	R1.10頃	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

H29年度に実施した食農イベントの参画者も統合し、広く関係団体との連携による事業推進体制とした。浜松・浜名湖ツーリズムビューロー等と連携し、旅行博で「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)」認定地域のプロモーション等を行った。小学生等を対象に体験型ツアープログラム「里山たいけん帖」、外国人対応型のメニュー開発、PR動画コンテンツを行い、国内外の交流者を増やす事業を展開するとともに、この地域の農林水産物のブランド力向上を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	もうかる農業推進事業	○	○	○		28,927	12,387	1.9	0.9			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						28,927	12,387	1.9	0.9			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) もうかる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)」の認定を契機に、浜松・浜名湖地域のうなぎに代表される食文化を基軸として、食と産業観光、音楽・伝統文化を組み合わせることで、国内外からの観光客を誘致し、地域の活性化や農林水産業者の所得向上を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.39、45】

- (1) 食×農プロジェクト推進協議会事業
 - ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催
 - ・外国人向け食×農体験プログラム造成
 - ・小学生向け食育プログラム
 - ・やらまいか大使和久田シェフとの連携プロモーション事業
- (2) グリーンツーリズム推進事業
 - ・静岡県グリーンツーリズム協会への参加による都市と農山漁村の交流促進

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	806	1,278	9,466	7,767	12,387
	決算	763	1,262	8,289	4,032	
	国・県支出	259				
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	504	1,262	8,289	4,032	12,387
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		5,250	6,400	6,400	10,580	16,540
人工	正規	0.8	0.4	0.4	1.1	1.9
	再任用(h31)		1.0	1.0	0.8	0.9
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2、12.3、12.8、12.b、
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

本地域の食文化を基軸に、地域外への情報発信やプロモーション活動、都市と農山漁村交流を実施することで、国内外との交流人口の増加と農林水産業の持続的な運営及び地域の活性化が見込まれる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					I -1(1)ウ		H27~H30	R1~R4
グリーンツーリズム交流人口(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2,910,000	2,940,000	2,970,000	3,000,000	3,030,000	3060000	3090000	
実績値	3,046,333	3,146,637	4,118,951	R1.10頃				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
農林漁業体験プログラム数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					57	66	75	
実績値			39					39
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者(事業者)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					100	400	600	
実績値			60					45
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
農水産業に係る食育体験の体験者数(累計・人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					250	1000	1500	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- (1)食×農プロジェクト推進協議会事業
 - ・体験プログラムの商談、PR(VJTM、MATTA FAIR)
 - ・PR動画コンテストの開催
 - ・体験型ツアープログラム「浜松・浜名湖地域 里山たいけん帖」の作成・発行
- (2)外国人向け「食×農体験プログラム」モデル事業
 - ・外国人に向けた食、食文化、農体験、料理体験の発掘・造成・提案
- (3)グリーンツーリズム推進事業
 - ・静岡県グリーンツーリズム協会への参加による都市と農山漁村の交流促進

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- (1)食×農プロジェクト推進協議会事業
 - ・浜松・浜名湖ツーリズムビューロー等と連携し、旅行博などにおいて食と農の体験メニューによる誘客を図った。
 - ・一般市民が浜松・浜名湖地域の魅力をPRする動画コンテストを開催し、3作品の受賞作品を決定した。
 - ・「浜松・浜名湖地域 里山たいけん帖」に、小学生親子、開催事業者含め約1,000人の参画を得た。
- (2)外国人向け「食×農体験プログラム」モデル事業
 - ・新規プログラム1件の造成、既存プログラム3件のブラッシュアップを行った。
- (3)グリーンツーリズム推進事業
 - ・静岡県グリーンツーリズム協会への参加し、各実施主体との情報交換や交流を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

H29年度に実施した食農イベントの参加者も統合し、広く関係団体との連携による事業推進体制とした。小学生向け体験プログラムには多くの農水産業関係者が参画し、ブランド化のひとつとして取り組む「浜松パワーフードプロジェクト」ではNPO法人や飲食店、観光関係者とも連携を強化している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

食や食文化を支える重要な産業である農林水産業への理解を深め、地産地消の推進や国内外の旅行客誘致につながるよう、引き続き関係団体との連携を強化し、情報発信やPRに努める。

補助シート (事業名) もうかる農業推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
39	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施
45	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

政策シート (政策名) 産業と市民活動による担い手の確保

(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	2,674	1,764	1,756	806	1,642
決算	1,380	1,555	217	463	
人件費(A)	3,800	3,540	6,000	4,940	4,380
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,180	5,095	6,217	5,403	6,022

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
市民ふれあい農園数(体験農園を除く)	か所	70	目標	52	54	54	54	54
			実績	52	51	52	52	
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位%)	%	86.0	目標	81.5	82.0	82.5	83	83.5
			実績	81.8	76.6	75.6	73.7	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

- ・ 所有する遊休農地を市民ふれあい農園として活用したいという相談は多いが、開設に至らないケースが多い。
- ・ 市民ふれあい農園に対する市民のニーズは高いため、それに対応できる開設候補地の掘り起こしが課題である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市民に親しまれる農業推進事業	○	○			6,022	1,642	0.3	0.4		0.3	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						6,022	1,642	0.3	0.4		0.3	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

◇事業の概要

①市民ふれあい農園支援事業

・市民ふれあい農園整備事業

農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。

・いなさ金指農園の運営

市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S52	-	一般会計	自治事務	市民農園整備促進法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	2,674	1,764	1,756	806	1,642
	決算	1,380	1,555	217	463	
	国・県支出					
	市債					
	その他	154	149	152	149	160
	一般財源	1,227	1,406	65	314	1,482
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,800	3,540	6,000	4,940	4,380
人工	正規	0.4	0.3	0.6	0.5	0.3
	再任用(h31)	0.2	0.4	0.5	0.4	0.4
	再任用(h26)					
	非常勤	0.1				0.3

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.7, 11.a
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

⑪農業に親しむ場を提供するとともに農村部の振興を支援する

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市民ふれあい農園数(体験農園を除く、単位:か所)					I-1(4)イ		-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	52	54	54	54	54	60	70	
実績値	52	51	52	52				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位:%)					-		-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	81.5	82.0	82.5	83	83.5	85	86.0	
実績値	81.8	76.6	75.6	73.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

①市民ふれあい農園支援事業 [決算463千円]

・市民ふれあい農園整備事業

農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。

・いなさ金指農園の運営

市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・H30年度の市民ふれあい農園開設に関する相談案件は7件あり、このうち1件で現地調査を実施したものの、手続き途中で取り下げた。

・広報はままつによる市民ふれあい農園開設者募集のお知らせは効果が高く、例年数件の問い合わせがあるが、開設の条件が農地所有者の意向に合わない、農地の状況が市民ふれあい農園に適していない等の理由で開設に至らないケースが多い。

・農地の相続に伴い新たに園主となった人もいて、既存の市民ふれあい農園の運営・管理についての相談が増えている。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・広報はまつや市のホームページ、本庁の椅子広告等を活用した広報活動を実施しているが、平成30年度の市民ふれあい農園利用率は73.7%にとどまった。
- ・平成30年度の市民ふれあい農園新規開設はなかった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民ふれあい農園の利用率を上げるため、市民に対する広報活動と併せて園主への運営指導・助言を行う。
- ・新規の開設については、引き続き広報活動を強化し、開設候補地の確保に繋げる。